



学院中だより

(8号)

令和5年1月23日 文責 上野由紀夫

心身ともに成長した2学期でした!

12月22日、2学期の終業式が行われました。今学期の仕上げとなる儀式的行事でした。「がんばったこと」を発表する生徒の声の大きさ、私語ひとつなく聴く生徒、ともに来年度の更なる成長を期待する式となりました。それぞれの学年の代表者が「2学期がんばったこと」について堂々と発表することができました。紹介します。

(1年代表 鈴木 陽人)

僕が2学期に頑張ったことは3つあります。

1つめは部活動です。4月から厳しい練習を重ねてきていて、最近では体力がついてきました。ダッシュにもついていけるようになりました。今後、ユニフォームがもらえるように、練習をもっと頑張りたいです。

2つめは学習面です。今回の期末テストは、前回のテストよりも順位、点数も少し上げることができました。このまま勉強を継続し、次のテストではもっと高い目標に向かって努力したいです。

3つめは水やりです。今、1年生はマイ畑というものを作って、さつまいもを育てています。その水やりを、青木君と毎日進んで行いました。雨の日以外はど欠かさず行うことができました。このまま大きく育ててほしいです。収穫が楽しみです。

3学期は、もっと頑張ったことを増やしていい学校生活にしていきたいです。



(2年代表 飯塚 頼漢)

僕が2学期に頑張ったことは2つあります。

1つ目は、勉強面です。1学期は英語が特に苦手な教科でした。そのため、以前よりも多く学習時間をとることを心掛けました。僕は単語を覚えることはできても、英文法の問題になると、思うように解くことができませんでした。そこで、授業で使っているワークの問題をすべて解くことにしました。勉強方法を変えてから、以前よりテストの点数も上がりました。点数が上がったこともうれしかったのですが、初めて自分で工夫した勉強方法で成功をおさめることができたので、達成感を得ることができました。

2つ目は、生活面です。登校中にゴミを拾って捨てたり、挨拶をしたりするように心掛けました。また、チャイムが鳴る前には次の授業の準備をして、1分前には着席を心掛けました。これからも引き続き落ち着いた生活を心掛けたいです。



(3年代表 中川 周真)

2学期には様々な学校行事がありました。特に頑張った2つを発表します。

1つ目は英検です。僕は2年生の時に英検4級に合格し、今回の英検では3級にチャレンジしよう決めました。英検3級からは筆記試験だけではなく、面接試験もあります。初めての面接試験で非常にナーバスでした。そのため、翔大先生にお願いし、2週間前から面接を中心に対策をしていきました。そのおかげで本番では自信を持って受検することができ、3級に合格することができました。Thank you, Mr. Shodai!

2つ目は修学旅行です。僕たちは修学旅行で京都と沖縄に行きました。京都では、美しい清水寺や きんぴか金閣寺などの観光名所に行きました。沖縄では、ホテルで取り組んでいる SDGs について学習を行ったり、平和学習として「ガマ」と呼ばれている、戦時中に使われていた自然の防空壕に実際に入ったりしました。その中で僕が特に頑張ったことは、留学生と一緒にいった班別活動です。最初は緊張したり留学生の英語が分からなかったりして、うまく会話をする事ができませんでした。しかし少しずつ話していくうちに緊張がとけ、たくさん会話することができました。この経験を通して、これからも英語力を伸ばしたいと思いました。

2学期が終わり、僕たち3年生の中学校生活も残り少なくなっています。3学期には高校受験があり、それぞれが決めた進路実現に向け、クラス全体でより一層勉強に励んでいきたいです。



終業式の前に行った表彰式

私からは、次のような話をしました。
一昨日の北陸地方の大雪により車が20時間以上も道路上で立ち往生した状況下、渋滞の中にいる人々が困っていることを察して、現地にいた方、地元の方がとった行動について紹介します。
○トラックの運転手・・・運搬中の岩塚製菓のお菓子を会社に電話をして、会社の許可を得て、みんなに配布したようでした。
○テレビを見た近くのイチゴ農家・・・自分たちでできることは、という事で、車一台一回ってイチゴを配ったそうです。
○近くの店屋さん・・・「店にあるものを好きなだけ持って行ってください。」「トイレを使ってください」等の声掛けをしてくださいました。どれも、なかなかできない行動です。みなさんが仲間温かな行動を起こすことってすばらしい姿です。みなさんが仲間温かな声掛けをする場面を2学期たくさん見ました。身近でできることの行動、今後も期待します。

困っている人のために行動をする場面を2学期たくさん見ました。身近でできることの行動、今後も期待します。

飛躍する「うさぎ年」に！

1月5日、3学期の始業式を行いました。11月から再び増加傾向のコロナ感染第8波がなかなか収束しないまま3学期を迎えましたが、さわやかな表情で始業式に臨む生徒が多く、今年の成長を期待できる式となりました。代表生徒の「3学期がんばりたいこと」を紹介します。

----- 福住心咲(1年) -----

私が3学期に頑張りたいことは3つあります。学習面では、私は普段、授業の中で発表をする機会があっても手を挙げる事ができません。3学期は積極的に発表していきたいです。テスト勉強では、2学期は1教科だけにかたよってしまったり、やらないことがあったりしたので、3学期はしっかりテスト勉強をして、目標を達成できるようにします。また、疑問があったら積極的に先生に聞いたりして理解していきたいと思っています。



2つめは学校生活です。休み時間にはしゃぎすぎて「騒がしい」とよく注意されてしまったり、次の授業の準備を忘れてしまったりすることがありました。休み時間の過ごし方を考え、先を見ながら落ち着いた生活を送りたいです。また教室が汚いことがあります。自ら進んで掃除に取り組んで、環境美化に努めていきたいです。

3つ目は部活動です。部活中よく「体力がない」と言われます。体力が無いと試合で戦えません。よりトレーニングを積み、体力をもっとつけていきたいです。

----- 杉本來彩(2年) -----

私が3学期に頑張りたいことは2つあります。

1つ目は勉強です。私は勉強に対して「やる気」が出るまで時間がかかります。テストでは、教科によって差があります。まずはこれらの差を縮めていきたいです。来年は、卒業テストや高校受験を控えているので、より一層勉強をしないとイケないな、と思います。また、学年末テストで一位をとりたいです。



2つ目はバスケットボールです。私にとって、ジムラツクラブ女子で初のbjカップに出場できたことは、とても大きなことでした。自分たちの代になって、けがも多く、うまくいかないことだらけで大変だったときもありました。それでもbjカップに出場できて本当にうれしかったです。3年生はJrウィンターベスト8で終わってしまいました。そのため、今年はその壁を破ることができるよう、スリーポイントの確率を70%以上にできるように、毎日練習をしようと思いました。そしてJrウィンターで優勝をして、全国大会に行きたいです。

----- 根岸凌央(3年) -----



僕は3学期、勉強と部活動の両立を目指し、より力を入れたいです。

勉強面では、2月に高校入試、3月の卒業テストがあります。特に卒業テストに向けて、学年順位にとらわれることなく、高い点数をとれることを意識したいです。また、自分が一番苦手としている教科の勉強にも、時間を効率的に使えるよう、事前に計画をきちんと立てて学習に取り組みたいです。

部活動では高校に向けてストレッチなど体にケアをしっかりとし、より練習に励んでいこうと思います。僕は、3年間、けがに悩まされてきました。高校の部活動ではよりアグレッシブなプレーが求められます。そのプレーに耐えうる基盤づくりを今のうちからし、1年生からスタメンで活躍できるよう頑張りたいと思います。

中学校3年間を振り返ると、あっという間に過ぎてしまったように感じます。学校生活も残りわずかになってきたので、悔いを残さぬようクラスの仲間と楽しく過ごしていきたいです。

私からは、自分の思春期に大いなる影響を受けていたアントニオ猪木さん(昨年10月1日死去)の話をしました。猪木さんが「燃える闘魂」と言われた理由とその魅力について私なりに2つ挙げました。

○闘争心(決してあきらめず最後まで戦う気持ち)

猪木さんに「ギブアップ」はなかった。失神したり、泡をふく場面は何回も見ただけ、決してあきらめない強い気持ちで何事もぶつかっていった。その姿(生きざま)に感動を得ていました。

○チャレンジ精神

柔道ミュンヘンオリンピック金メダリスト、ウィリアムスカ、ボクシング世界ヘビー級チャンピオンモハメド・アリからはじまる異種格闘技への挑戦はそれまでのプロレスの常識を打ち破るもので、このチャレンジは、猪木さんのロマンへの追求だったと思っています。後に政界に入ってもそのチャレンジは続きましたが・・・。

この2つの気持ち(あきらめない気持ち、チャレンジ精神)を持って、うさぎ年の今年が学院中生徒にとっても大いなる飛躍ができる年になってくれるように願っています。

